

審査から

平成30年度決算(一般会計・特別会計)

・平成30年度病院事業会計決算を審査

本定例会では、決算についても各常任委員会で審査しました。各常任委員会では活発に質疑が行われ、決算審査の結果「認定すべきもの」と決し、多数の意見が付されました。

健康福祉

9月10日・18日に議案7件、認定2件の審査を行いました。

町田市授産センター条例の一部を改正する条例
授産場を廃止

委員 現在通所している方の人数と、そこで仕事をされて収入を得てということだと思いが、その後のフォローはどうなるのか。

障がい福祉課担当課長 現在の利用者は登録が10名で、全て高齢の方になっています。その後の生活への影響ですけれども、今個別に面談をしながら確認しているところですが、ピアリングを行いながら、本人の意向に沿って支援を行っているところなんです。

委員 例えば高齢でも、元氣だから違うところで働きたい場合、高齢者を受け入れるほかの福祉施設は、実際にあるのか。

委員 現在通所している方の人数と、そこで仕事をされて収入を得てということだと思いが、その後のフォローはどうなるのか。

障がい福祉課担当課長 現在の利用者は登録が10名で、全て高齢の方になっています。その後の生活への影響ですけれども、今個別に面談をしながら確認しているところですが、ピアリングを行いながら、本人の意向に沿って支援を行っているところなんです。

委員 今、手挙げした団体の中には市内に所在する団体はあったのか。

産業政策課担当課長 ありませんでした。

委員 条件を満たす企業が市内になかったということかあるいは条件を満たす企業はあったが、その企業が手挙げをしなかったということか。

産業政策課担当課長 今回指定管理者の創意工夫を生かしていただくということで、特に厳しい条件を立てたわけではないが、市内事業者からの応募がなかったということ、条件を満たしていたかどうかは調べていません。

委員 今、手挙げした団体の中には市内に所在する団体はあったのか。

産業政策課担当課長 ありませんでした。

委員 条件を満たす企業が市内になかったということかあるいは条件を満たす企業はあったが、その企業が手挙げをしなかったということか。

産業政策課担当課長 今回指定管理者の創意工夫を生かしていただくということで、特に厳しい条件を立てたわけではないが、市内事業者からの応募がなかったということ、条件を満たしていたかどうかは調べていません。

総務

9月10日・11日・18日に議案4件、認定1件の審査を行いました。

原町田二丁目駐車場及び原町田二丁目第2駐車場指定管理者の指定
3つの選定基準と市内事業者の応募

委員 指定管理者候補というところで挙げられている団体を選考するに当たって、最も適切な内容を持った候補だという説明があったが、他と比べて採用の秀でた要件として取り上げたところはどんなところだったか。

産業政策課担当課長 選定に当たり3つの基準を重視しました。1点目は、利用者にとって質の高いサービスを提供するために創意工夫ができていくかどうか、2点目は、今回、利用料金制ということ納付金をいただくことになっていきますので、納付金の多寡、また、3点目として、施

委員 指定管理者候補というところで挙げられている団体を選考するに当たって、最も適切な内容を持った候補だという説明があったが、他と比べて採用の秀でた要件として取り上げたところはどんなところだったか。

産業政策課担当課長 選定に当たり3つの基準を重視しました。1点目は、利用者にとって質の高いサービスを提供するために創意工夫ができていくかどうか、2点目は、今回、利用料金制ということ納付金をいただくことになっていきますので、納付金の多寡、また、3点目として、施

委員 今回、手挙げした団体の中には市内に所在する団体はあったのか。

産業政策課担当課長 ありませんでした。

委員 条件を満たす企業が市内になかったということかあるいは条件を満たす企業はあったが、その企業が手挙げをしなかったということか。

産業政策課担当課長 今回指定管理者の創意工夫を生かしていただくということで、特に厳しい条件を立てたわけではないが、市内事業者からの応募がなかったということ、条件を満たしていたかどうかは調べていません。

委員 今回、手挙げした団体の中には市内に所在する団体はあったのか。

産業政策課担当課長 ありませんでした。

委員 条件を満たす企業が市内になかったということかあるいは条件を満たす企業はあったが、その企業が手挙げをしなかったということか。

産業政策課担当課長 今回指定管理者の創意工夫を生かしていただくということで、特に厳しい条件を立てたわけではないが、市内事業者からの応募がなかったということ、条件を満たしていたかどうかは調べていません。

決算審査(健康福祉) 認定すべきものと決定

- ・本来、東京都の事務となる保健所運営を町田市が保健所政令市として担っていることに鑑み、人口減少社会に備えるにあたって保健所運営に関わる費用負担を東京都に求める。
- ・市民後見人登録者が、後見人としての仕事を受任できるよう、フォローアップ研修を実施されたい。また成年後見人制度の利用者増が見込まれるため、財源確保を図られたい。
- ・福祉輸送サービスの共同配車センターは支援を必要とされる方にとって重要なサービスであり、潜在需要はあるので更に増強を検討されたい。
- ・特別養護老人ホームの待機者数に圏域別の差があるので、圏域別の待機者数や年齢別人口などを見越して先手を打った増設を進め、入所待機者を減らすとともに、「第7期介護保険事業計画」未達成分の地域密着型サービスの整備を急がれたい。
- ・高齢者見守り支援ネットワークの継続のため、メンバーの世代交代を促す工夫、多様な地域資源との連携を推進されたい。
- ・今後、高齢者の受給者が増加すると予想される。医師会などの協力を得て、ジェネリック医薬品の奨励と、就労指導の推進を図られたい。
- ・公共施設再編において医療機能集約を図るためのメディカルセンター化の検討を始められたい。
- ・3年経過した出産・子育てしっかりサポート事業や、こんにちは赤ちゃん訪問について、件数など定量的管理のみならず、振り返り会議を生かした質の向上や以降の継続フォローの更なる強化に努められたい。
- ・東京都から譲り受けた保健所は築50年、老朽化している。建物、施設の効率化、安全対策を考慮し、早期に建て替えを検討されたい。
- ・短期滞在外国人に対し、被保険者証発行には不正使用の無いよう努力されたい。
- ・要介護度改善ケア奨励事業を拡大し、更に高い目標を設定して推進されたい。

【認定第2号】

- ・入退院支援センターに介護支援専門員を配置し、退院後の療養や生活支援にすぐつなげられる体制をとられたい。
- ・救急診療体制の充実を図り、救急隊からの受け入れ要請に対する応需率の引き上げに努力をされたい。

など計32件の意見を附帯決議として付しました。

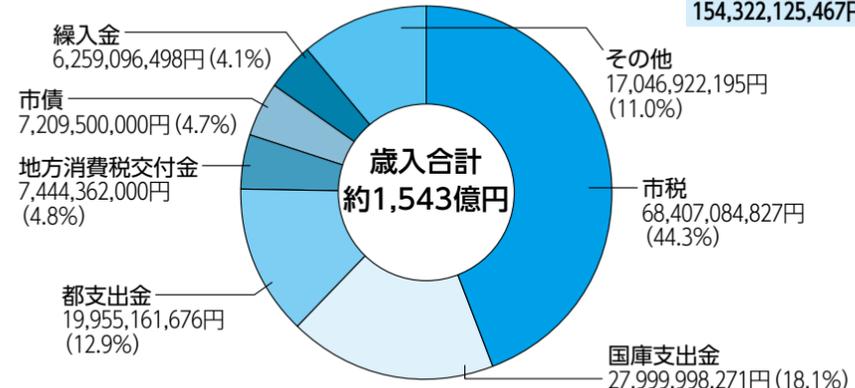
決算審査(総務) 認定すべきものと決定

- ・SNSはツイッター・Facebookでも情報発信しているとのことだがまだまだ認知度が低い。SNSの更なる利活用に努められたい。
- ・GREEN×PLAZAにおいては、費用対効果も鑑みながら市民の声を反映して進められたい。
- ・屋上花畑においては、子どもたちに収穫体験をさせる等、更なる活用を図られたい。
- ・工事請負契約において市内事業者が受注しやすくなるよう、更なる配慮に努められたい。
- ・市民税等賦課管理費について、一日も早いソフトウェアロボットの活用を進められたい。
- ・市税や国民健康保険税の滞納整理にあたっては、生活困窮解決のため生活支援課との連携を強められたい。
- ・オープンデータ事業において町田市は二次利用を前提に91のオープンデータコンテンツを公開しているが市が保有している資料・データに比してその量は多いとは思えない。今後、活用可能な有用資料の更なるオープンデータ化に努められたい。
- ・就業関連情報においては、ハローワーク町田等、各支援機関との連携をより密にし、市内雇用情報の把握に更に努め、市内有効求人倍率を向上するよう計られたい。
- ・農業研修修了者が市内で農業に携わることができるよう、取り組みを更に進められたい。
- ・農業においては、市内の収穫量に関しても把握するよう努められたい。
- ・山林バンク事業のマッチングに力を入れ、更なる山林の活用を図られたい。
- ・商店街活性化のために、魅力ある個店形成を支援すること。
- ・町田ターミナルプラザにおいては飲食を含めた更なる集客と滞在時間の増加に努められたい。
- ・外国人観光客の増加に向けて、更なる取り組みを進められたい。

など計30件の意見を附帯決議として付しました。

平成30年度 歳入決算額の内訳(一般会計)

歳入合計額 154,322,125,467円



平成30年度 歳出決算額の内訳(一般会計)

歳出合計額 151,816,523,707円

